

令和2年度（横浜桜陽）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上	公務員としての倫理意識の向上	・3月に啓発資料を用いて事故防止会議を実施。法令等に定められた趣旨や背景について理解を深め、意識の向上を図った。
職場のハラスメントの防止	職員の人権を尊重し、ハラスメント行為の未然防止	・9月に啓発資料を用いて事故防止会議を実施。ハラスメント行為に関する認識を深め、ハラスメント行為の未然防止を徹底した。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、わいせつやセクハラ行為の未然防止	・7月に啓発資料を用いて事故防止会議を実施。わいせつやセクハラ行為が重大な人権侵害であるという意識を徹底した。
体罰、不適切な指導の防止	生徒への体罰の未然防止	・10月に啓発資料を用いて事故防止会議を実施。体罰、不適切な指導に関する認識を深め、体罰の未然防止を徹底した。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故の防止	成績処理及び通知表、調査書発行及び推薦会議に係る事故の未然防止	・成績処理に関するマニュアルの周知を徹底するとともに、手順を段階的に確認し、事故を防いだ。
入学者選抜業務における事故の防止	入学者選抜における事故の防止	・1月に入学者選抜に係るマニュアルについて校内研修会を実施。入学者選抜業務の流れを周知するとともに、各自の業務分担を確認の上、業務に当たった。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報管理の徹底	・4月に個人情報の収集及び持ち出しに関する手続きの周知を徹底し、個人情報の漏洩を防いだ。 ・11月に啓発資料を用いて事故防止会議を実施。個人情報に対する意識の向上を図った。
会計事務等の適正執行	現金管理及び会計処理上の事故の未然防止	・伝票処理、保護者への通知、支払い等について、適正に且つ速やかな執行に向けた意識向上を図った。
業務適正執行	規定の順守、相互チェック体制の徹底	・チームとして業務に当たり、相互点検を通じて適正に業務を遂行した。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

- ・不祥事ゼロプログラムの計画に従い、事故不祥事防止会議及び研修、個人点検を行うことができた。
- ・成績処理や指定校推薦会議、入学者選抜等、業務の開始に当たり注意喚起をし、事故防止に向けた意識向上を図った。
- ・今後も規定を遵守し、相互チェック体制を徹底し、チームとして職員全体で業務を遂行し、事故・不祥事を起こさない職場づくりに取り組む。